

各種奨学生及び特待生賞状授与式を開催

7月21日(木)、工学部本館3階第1会議室において、令和4年度日本大学特待生賞状・日本大学各種奨学生証書授与式を執り行いました。受賞された学生の皆様、誠におめでとうございます。

令和4年度 各種受賞者数 計53名
日本大学特待生(甲種) 4名
日本大学特待生(乙種) 20名
日本大学古田奨学生 1名
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生 1名
日本大学オリジナル設計奨学生 2名
日本大学創立100周年記念外国人留学生奨学生 1名
日本大学工学部奨学生(第1種) 6名
日本大学工学部五十嵐奨学生 12名
日本大学大学院工学研究科奨学生 6名

建設コンサルタンツ協会東北支部若手の会と交流会を行いました

7月29日(金)、建設コンサルタンツ協会東北支部若手の会と土木工学科の学生たちとの交流会が、工学部8号館3階土木ゼミナール室で行われました。当日は若手の会のメンバー14名と学部1年から大学院1年までの学生20名が参加。6つのグループに分かれて交流を深めながら、若手技術者目線で業界の魅力や仕事内容等を学生に伝えるとともに、学生が働くことに対して抱く不安等を解消できるよう相談に応じていただきました。

令和4年度高大連携推進教育懇談会を開催しました

7月30日(土)、工学部では高校の校友教員および協力教員を招いて、高大連携推進教育懇談会を開催しました。今回は建築学科を卒業した校友教員であり、現在北海道といわっふ美術工芸高等学校の校長を務める池原智宏氏による講演会および高校教員と工学部教職員との意見交換を図る高大連携推進教育懇談会を実施。工学部からの情報提供のほか、高校教員の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただき、大変有意義な一日となりました。

学文連×図書館 SDGs関連図書Web選書会を実施しました

8月8日(月)から19日(金)の期間で、学術文化サークル連合会が主体となり、国際的な取組目標であるSDGsに関連する図書のWeb選書会を実施しました。9月29日(木)には、実際に選んだ図書のPOPを各選書者が伝えたい思いを形にしながら作成し、10月31日(月)まで、図書館1階イベントスペースにおいて、今回選書した図書とPOPを展示した「SDGs特別展」を開催しました。

総合教育川嶋正土教授がハンガリー言語学センターで講演

9月8日(木)、総合教育の川嶋正土教授がハンガリーの首都ブダペストにあるHungarian Research Centre for Linguistics(ハンガリー言語学センター)で講演しました。この講演は、独立行政法人日本学術振興会とハンガリー科学アカデミーの間で行う二国間交流事業の研究促進のため、ハンガリー言語学センターのMarcel den Dikken上席教授の招待を受け行われたもので、川嶋教授は英文法教育における合理的な理解の重要性を主張した「Toward the comprehension-based teaching of English grammar」を講演しました。

土木女子の会で「ふくしま復興再生道路」の建設現場を見学

9月14日(水)、土木女子の会に所属する1年から3年までの学生16名が、「ふくしま復興再生道路」吉岡田瀬根線の県道バイパス工事の現場を見学しました。橋梁を走行する車の荷重を支えるコンクリート床版がどのようにつくられているのか、実際に見られる機会はなかなかない貴重な体験です。また、この橋梁には土木工学科の子田康弘教授が企業との共同研究で進めている高耐久性床版を使った実構造物での実証実験も行われます。

「スマート・ウェルネス・タウン・ベップ・モトマチ」が2022年度グッドデザイン賞を受賞

この度、建築学科の浦部智義教授をリーダーとするプロジェクト「スマート・ウェルネス・タウン・ベップ・モトマチ」が、2022年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を受賞しました。本プロジェクトは、元気な子どもを中心とした健康まちづくり推進プロジェクトで、既存の医療関係施設に留まらない建築・場づくりと施設運営を目指し、地域医療と工学を融合させた健康で持続可能なまちづくりに貢献しています。

土木工学科の教員と学生が地域住民と協働で古川池プロジェクトを推進

「古川池の持続可能な防災観水公園化プロジェクト(通称:ロハスの池プロジェクト)」の活動の一環として、10月22日(土)に教員・学生・卒業生と地域住民で結成された古川池愛護会による古川池の清掃活動「秋の陣」が行われました。また、11月15日(火)にはプロジェクトの中間報告会を実施し、学生と教員から実験状況や成果、今後の課題などについて説明しました。今後の古川池の環境整備に大いに期待も高まっています。

学術文化サークル連合会による部室棟清掃を実施しました

10月28日(金)、学術文化サークル連合会(学文連)に所属する12団体46名の学生が、部室棟清掃を実施しました。学内美化清掃企画は、学文連が例年行ってきた行事ですが、今年度は、4年ぶりに対面開催となる北桜祭を前に実施することで、来学されるお客様や校友のために美しい環境を整備するとともに、先輩達が創り上げた課外活動のための環境が現在も確保されていることに感謝し、大学施設を大切に扱う意識を高めました。

JICA国際協力専門員の永田謙二氏による講演会を行いました

「グローバル社会で活躍する人材創出プロジェクト」では、昨年に引き続き国際協力機構(JICA)の国際協力専門員の永田謙二氏をお招きし、「日本の国際協力と人間の安全保障〜アフガニスタンにおける中村哲医師の活動から〜」の講演会を11月12日(土)に行いました。参加した学生は、我が国の開発途上国支援や中村医師の活動について学びながら、国際協力への理解を深めていました。



工学部広報



Graduate School of Engineering 大学院進学のススム

CONTENTS

大学院特集

- 大学院進学の特集とは? P1
— 大学院生の就活優位性 P2
— ロハス・トップエンジニアを養成するカリキュラム P3
— 大学院の魅力とは!? P4
— 社会の第一線で活躍する先輩からのメッセージ P5
— 企業が大学院修了者を求める理由 P6
— 大学院での活動の支援 P6
— 令和6年度大学院入試 P6

北桜祭特集

- 第72回北桜祭「花明かり あの輝きをもう一度」 P7-8
— 日本大学工学部母校を訪ねる会 P9
— ワンダーフォーゲル部創部60周年記念式典 P9
— 第72回北桜祭「特別講演会」 P9

令和4年度父母面談会

- P10
学生・卒業生の活躍 P11-13
令和4年度科学研究費助成事業交付者 P14
工学部だより P15



大学院進学のスズメ

大学院進学の特長とは？

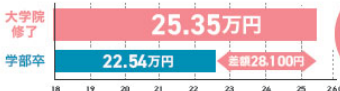
質が違う就職先

「どこかに行ける」から「行きたいところに行ける」へ
近年、目覚ましい発展を続けるテクノロジー。それを深く理解し、活用できる大学院レベルの教育が社会のニーズとなっています。大手企業では大学院卒を採用条件とする割合も高く、スペシャリストを目指すなら修士号取得は必須。研究を深めつつ視野を広げることで夢が目標に変わります。大学院進学は将来のキャリア形成に大きな意味をもたらすでしょう。

大学院進学は増加傾向 ▶ R4年度工学研究科入学者数 **約2倍** (H30年度以前比)

04 将来 収入の高さと安定した将来性

■ 初任給 令和3年賃金構造基本統計調査・厚生労働省公表



■ 生涯賃金収入

内閣府資料：大学院卒の賃金プレミアム/2014年6月

生涯賃金収入でも大学院修了者が優位



03 就職 希望の就職をかなえる近道

日本大学大学院工学研究科修了者の優れた就職実績。

▶ **就職率 (2021年度) 100%**

▶ 大手企業の学校推薦選抜も大学院生が断然有利。

▶ 博士後期課程を修了すれば、大学教員への道も開ける。

研究職・技術職採用は大学院修了者の割合が圧倒的に高い

【参考データ】	大学院修了	学部卒
専門的・技術的職種従事者の割合 (内閣府資料・大学院卒の賃金プレミアム/2014年6月)	64.51%	24.25%
初めて就職した会社を離職した割合 (厚生労働省「平成30年若年層雇用調整調査結果の概況」)	24.7%	36.7%

02 成長 「ロハス工学」を実践的に学び高度なロハスエンジニアになる

「ロハス工学」を究める最先端の研究を通して、技術者の専門基礎と応用力を身につけられる。

所属研究室の主・副指導教員からマンツーマンで丁寧な指導が受けられる。

高い問題解決能力、コミュニケーション能力や倫理観を養うことができる。



01 進学サポート 経済面でのサポートも充実

▶ 工学部・工学研究科からの進学は**入学金免除!!** **20万円**

▶ 工学部第1種奨学金など大学院生対象の奨学金も充実。

▶ TA、チューター、学会交通費補助などの支援制度。

▶ 奨学金の返還免除制度があるのも大学院ならではのメリット。(2021年度は申請者18名のうち2名が全額、7名が半額免除。)

▶ 研究・学修に努め、2年間に200万円のサポート(各種奨学金、TA、チューターなどの合算)を受けた先輩もいます!

就職内定者が語る!

大学院生の就活優位性

土木工学専攻2年
小野 賢太郎さん
仙台市立仙台工業高校出身

インフラ保全をリードする次世代型建設コンサルタント
株式会社復建技術コンサルタント **内定**

大学院で身につけたことは、チームをまとめる指導力とコミュニケーション力、そして研究を進める上で重要な計画立案力です。橋梁の維持管理を目的とした共同研究で内定先企業と出会ったことも、大学院に進学して良かったと思える大きな収穫でした。会社を代表するような技術者を目指し、地域の方々が過ごす、当たり前の安全な日常を支えていきたいと思っています。

建築学専攻2年
三沢 健介さん
山形県立寒河江工業高校出身

産学をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業
株式会社構造計画研究所 **内定**

組織設計事務所やゼネコンの構造設計の募集は院卒以上が重要なファクター。研究活動や学会発表・コンペ等の実績が評価されることも大学院のメリットです。鋼構造や解析技術など専攻分野を深く学ぶと同時に、自己管理能力や論理的思考力を養うことができました。将来は安全性や利便性を追求し、人々の感性を豊かにする構造デザインの実現を目指します。

機械工学専攻2年
赤羽 飛祐さん
青森県立弘前工業高校出身

医療現場に新たな価値を生み出す創造企業
株式会社テクノメディカ **内定**

工学的アプローチで医療分野に貢献したいと考えて、臨床工学技士の資格を取得。医療系の資格を持っていることが有利に働き、医療機器メーカーへの採用が決まりました。大学院では、新たな実験装置を自ら作製し、培養した細胞に力的刺激を与えることでどのような影響が出るかを調べています。私が設計した装置が実際に病院内で使用されることが将来の目標です。

電気電子工学専攻2年
渡部 優弥さん
山形県立鶴岡東高校出身

業界をリードするソニーグループの半導体部門
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 **内定**

研究で新しいことを生み出すためには何をすべきか、どのように物事に取り組むべきかを大学院で学びました。研究を進める中で身についた。データ分析や考察をまとめるスキルは就職してからも大いに役立つと思います。優先的に推薦枠が利用できること、学外発表などで自分の専門分野以外の知見を得られること、この二つは大学院生の大きなメリットです。

生命応用化学専攻2年
片山 正教さん
北海道札幌東陵高校出身

国際市場に新商品開発で挑む6次産業の先駆者
よつ薬乳業株式会社 **内定**

私は酵母の浸透圧調節機構について研究しています。酵母を実験で扱うには、培養して細胞を増やすことが必須です。スケジュールを先読みし、物事を効率的に行い、同時に複数の実験を行うための計画立案力が身につく、それが私の強みになりました。北海道の美味しさが詰まった商品の開発に携わり、果敢にチャレンジしながら地元貢献したいと考えています。

情報工学専攻2年
関 元之さん
群馬県私立徳徳高校出身

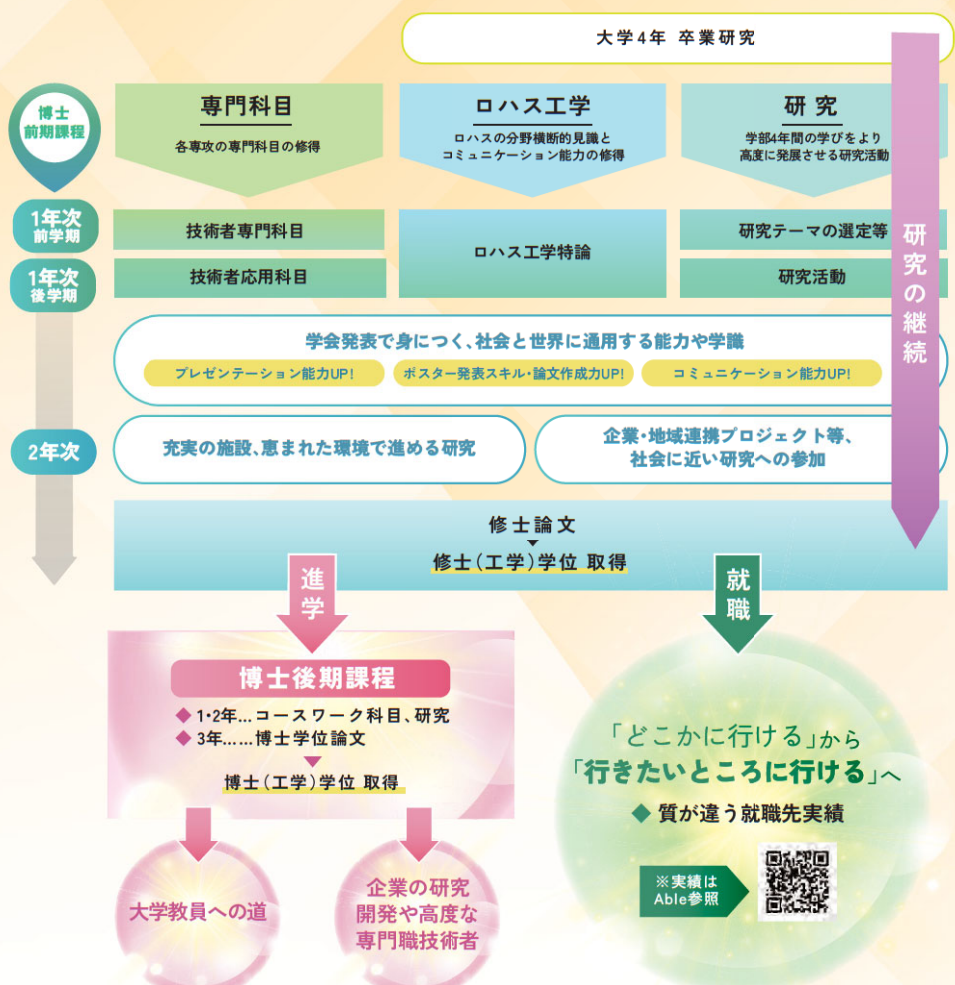
ICTを活用して社会インフラの高度化を目指す
日本電気株式会社 **内定**

大学院の2年間は自己研鑽と将来を熟考する貴重な時間です。情報社会で応用できる高度なIT技術も身につけることができました。内定先は圧倒的な技術力を有すると共に、大きなプロジェクトに携わる機会が多い世界トップクラスの企業。新しい技術に対してアンテナを張り、研究で培った能力を活かして人々が便利に暮らせるシステムを考案していきたいと思っています。

その選択が実を結ぶ!

研究を中心に価値の高い学びで ロハス・トップエンジニアを養成するカリキュラム

2022年度よりカリキュラムを変更し、「ロハス工学」をさらに実践的に学び、研究に活かせる体制を整えました。社会をけん引していくにふさわしい、ロハス・トップエンジニアを養成する学びがここにあります。



- 大学院科目等履修生(早期履修制度)**
学部4年次に大学院の授業科目を早期履修し修得(6単位上限)することで、大学院進学後に大学院修了要件の単位となり、大学院での研究活動がより充実できます。
- やりたい研究をバックアップ**
指導教員の複数制(主指導教員・副指導教員)によるフォローアップ体制、学会等での発表の経費補助。
- インターナショナル・エンジニアリングコース**
留学生のための英語で授業を行うコース。

院生に聞!

大学院の魅力とは!?

- 利用した制度
- 特待生
- 学内奨学金
- 学外奨学金
- TA
- チューター

学内外の発表会を体験して 研究への理解が深まり探究心が強くなる



土木工学専攻1年
小菅 愛弓さん 群馬県立利根実業高校出身

進学した理由
コンクリート工学研究室に所属し、研究活動を進めるうちに専門分野の学びをさらに深く身につけたいと考えたからです。

最近のトピック
土木学会全国大会:学外で初の対面発表は非常に緊張しましたが、なんとか落ち着いた感じで終わることができ、自分の成長を感じました。

これからの目標
研究室で学んだことを活かし、コンクリートやコンクリート構造物に関わる仕事に就きたい。社会インフラを支える技術者が目標です。

TA

貴重な学びと刺激を得られる! 学会発表や学外プロジェクトへの参加



建築学専攻1年
吉澤 伊代さん 神奈川県立多摩高校出身

進学した理由
もっとまちづくりに関する専門的な見識を深め、環境計画研究室での研究をさらに発展させたい、探究したいと考えて進学しました。

最近のトピック
日本インテリア学会:福島県内庁舎の設けに関する発表で学生発表奨励賞を頂きました。今後も現地調査を大切に、研究を進めたいです。

これからの目標
市民に開かれた庁舎建築に関する研究をさらに深く、将来は人々の何気ない生活をよりよい社会に貢献する仕事に携わりたいです。

特待生 学外奨学金

「計画性」と「説明能力」 社会に出てからも必要となる力を養える



機械工学専攻1年
樺島 薫さん 栃木県立栃木翔南高校出身

進学した理由
論理的な思考と専門知識を深め、「くらし」に再生可能エネルギー設備を取り入れてエネルギー自立を目指す研究がしたかったからです。

最近のトピック
新☆エネルギーコンテスト:平時は商業施設、災害時は避難所として生活を支える複合施設「街Station」をテーマに発表。さらに最適な設備条件を検討しています!

これからの目標
まだ計画の立て方や説明する力の不足を感じています。日々の研究生活でスキルアップし、周りから信頼されるようになりたいです。

学内奨学金 TA

自主性が重要視される場所。 指導教員との関わりから多くを学ぶ



電気電子工学専攻1年
犬塚 大介さん 神奈川県立茅ヶ崎高校出身

進学した理由
生活に不可欠な電気学ぶことは、社会に出ても役立つと思います。卒研から修士論文まで研究を続けたいと考え進学しました。

最近のトピック
電気関係学会東北支部連合大会:オンラインでの学会発表に参加。多くのアドバイスを頂き、たいへん参考になりました。現在は今後の研究方針を検討中です。

これからの目標
自分がこの先何をしたいのか、まだ決めかねています。就職についてゆっくり考えながら研究を進め、将来の道を探りたいと思います。

TA

研究活動の中でプレゼンテーション 能力や資料作成スキルが向上する!



生命応用化学専攻1年
佐藤 さつきさん 福島県立郡山東高校出身

進学した理由
教員を目指し教育実習を経験。勉強だけでなく広く世の中の問題も伝えられる知識と話術の必要性を痛感し、大学院進学を決めました。

最近のトピック
化学系学会東北大会:食品廃棄物を有効利用するための研究が評価され、優秀ポスター賞を受賞しました。定量の精度アップに健闘中です。

これからの目標
研究成果の発表が現在の目標です。より一層自己管理能力と英語力を高め、将来は情報工学技術で地球環境の分野に貢献したいです。

学外奨学金 TA チューター

自由度が高い大学院生活。 試行錯誤しつつ自己管理能力を身につける



情報工学専攻1年
佐竹 祐里奈さん 福島県第一学院高校出身

進学した理由
所属するジオインフォマティクス研究室では地球科学に関する知識も必要です。より深く知識や技術を修得したいと考えて進学しました。

最近のトピック
国際学会でポスター発表:英語での発表や資料作成は学びの多い貴重な経験でした。その反省を生かし、次は国内の学会発表に向けた準備に充実の毎日です。

これからの目標
研究成果の発表が現在の目標です。より一層自己管理能力と英語力を高め、将来は情報工学技術で地球環境の分野に貢献したいです。

学外奨学金 TA

社会の第一線で活躍する 先輩からのメッセージ

Message01



日本工営株式会社
地盤環境事業部 地盤技術部

齋藤 和寿さん
2020年3月土木工学専攻博士前期課程修了

専門性の高いコンサル業界の設計職の道へ

福島県出身で、災害復興や防災・減災対策で地元貢献したいと考えて土木の道に進みました。地盤防災工学研究室での研究が面白く、もっと続けたいと考えて大学院に進学。専門性が求められる設計職や研究開発職は院生の採用が多く、将来の選択肢が増え、高いスタートラインに立てることも大きなメリットでした。現在は、建設コンサルタント企業で空港や河川など大規模インフラ関連事業に役立つ地盤調査・解析・設計・施工管理に関する技術を提供する部署に所属しています。南海トラフ地震に備えた港の耐震業務にも携わっています。業務を進める中で、高度な技術的判断が必要な時に大学関係者のご意見をいただくことがあるのですが、学会活動などで広がった先生方とのネットワークが大変貴重です。今後は管理技術者として従事するため技術士の資格取得に挑みます。土木工学科はJABEE認定を受けているので、大学院在学期間も実務経験として扱われ、就職後2年で受験資格を得られました。大学院は自分自身の可能性が広がる2年間だと思えます。金銭面での不安は、院生ならではの奨学金返還免除制度や生涯賃金の高さで解消できるでしょう。皆さんも、将来の道を自ら切り拓いてください。

専門的な知見を活かし、設計開発に携わる

現在、エアコンなどの空調性能を左右する重要な部品の評価や設計開発に携わっています。品質を維持しながら性能を上げ、確実に安全を保障する製品を目指す仕事は困難も多いですが、自分が提案したものが形になったときは達成感があります。今後は、より専門性を高め、自ら提案した設計開発に取り組みしていきたいと考えています。大学院では、サステナブルエネルギー研究室でエネルギー関係の冷凍空調分野について研究していたので、将来も学んだことを活かしたいと考えていました。指導教員の紹介でインターンシップに参加し、この会社なら自分の知識を活かし、明確な目的を持って仕事に取り組みめると思い就職しました。大学院では物事を伝えることの重要性、相手の意図をくみ取ることの大切さも学びました。学内外での研究発表や質疑応答、研究室での計画遂行状況の説明など、様々な機会でおこなわれたと感じています。皆さんも、今の研究に真剣に取り組んでください。集中して研究、勉強に費やせる時間は貴重です。大学院2年間は決して大きなバイアンドではなく、むしろプラス。コミュニケーション能力や知識、社会に必要なスキルなど、きっと多くのものを得ることができるでしょう。



東芝キャリア株式会社
富士事業所 技術統括部 機能部品設計部
部品設計第一担当

三沼 卓也さん
2018年3月 機械工学専攻博士前期課程修了

最先端の機器を使った分析の経験が活きる

元々は教員志望で、大学院に進学した理由も専修免許状を取得することが一番の目的でした。ところが、2011年度は東日本大震災の影響で福島県の教員採用試験は行われなかったため、急ぎよ第二志望だった公務員へ舵を切ることになりましたが、教員採用試験対策で吸収した知識は公務員試験にも活かすことができました。現在は郡山市の水道水の安心・安全を守るため、水源である猪苗代湖や三春ダムからお客様のごじょうまで、採水から分析まで行う水質検査の業務に携わっています。大学4年の時に所属した環境分析化学研究室で分析化学について深く学び、さらに大学院で培った幅広い「分析」の経験は、今の私の仕事に直結していると言っても過言ではありません。環境保全・共生共同研究センターで使用していたイオンクロマトグラフや誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)などの最先端の分析機器は、実際に職場で使うものと同レベルの高度なものでした。即戦力となれる知見を養えた2年間だったと言えるでしょう。また、大学院では将来の進路についてじっくり考える時間があり、選択肢が広がることもメリットのひとつです。今後は分析のスペシャリストとしてさらにステップアップを図るために、博士号の取得を目指します。

Message03



郡山市上下水道局
浄水課 技査

木村 和貴さん
2012年3月物質化学工学専攻(現生命応用化学専攻)修了

企業が大学院修了者を 求める理由

株式会社 日立ハイテク
Hitachi High-Tech Corporation



株式会社日立ハイテク
原価企画部関連エンジニア
元電子顕微鏡開発技術者
日本大学工学部
非常勤講師
根本 昌弘氏
1985年3月 電気工学科
(現電気電子工学科)卒業

研究によって培われる創造力への大きな期待

総合電機メーカーである日立製作所グループのような製造業で、特に設計開発部門を重要視する企業では、理系の学生が9割を占めています。さらに、当社ではその8割以上が大学院修了者です。なぜ、学部生よりも大学院生を採用するのか。その理由は、大学院生には3年間の研究活動で得た幅広い知識や経験があるからです。これまで誰もやったことのない未知の領域で、自ら考えた手法を用いて試行錯誤を繰り返しながらゴールに向かっていく研究活動では、教科書を使った授業の中で、すでに確立された技術を覚えるだけの学部の3年間とは違い、新規性や独創性を追究することができます。しかし、学部生が研究に携われる時間は1年間のみ。プラス2年間研究活動に取り組みる大学院生は、様々な経験を積むことで応用力が身につく、ものづくりに必要な創造力も鍛えられます。

加えて、学内外の人と接する機会が増える大学院生は、コミュニケーション力が磨かれて人と人間関係を構築できる点においても優位性があります。製品開発プロジェクト自体が、いわば一つの会社のようなもの。材料の原価、品質保証、人件費、収支まで、全てにおいて設計に責任があると言っても過言ではありません。そのため、設計開発のリーダーにはマネジメント能力も必要とされることから、これらの資質が総合的に備わっている大学院生が採用される理由も納得いただけるのではないのでしょうか。これからはニーズに合わせて製品をつくるのではなく、ニーズを予測し、ニーズまで盛り込んだ製品開発が当たり前になってきます。是非とも、大学院での研究活動を通して、新しいアイデアを形にできる創造力を高め、次世代を牽引する技術者を目指してください。

大学院での学びをバックアップ

■ 大学院での活動の支援

学会等での発表の経費補助	年に1回	学会発表に係る経費(交通費、現地宿泊費、学会参加費)を5万円を上限に補助します。
ティーチング・アシスタント(TA)	専攻で多数の採用者	工学部の実習授業の指導補助等にあたり、博士前期課程のTAは業務の時間数に応じて一定の金額が、博士後期課程のTAは月額5万円が支給されます。
チューター	専攻で3~4名	主に工学部1年生等の基礎系科目の学修支援や外国人留学生の支援を行い、年額15万円程が支給されます。
日本大学大学院海外派遣奨学生	工学研究科1~2名	海外派遣(留学)期間は1年間で最大180万円が支給されます。海外での研究活動を視野に入れることも可能です。
入学金免除	入学時に1回	本学の卒業・修了者は入学時に必要な入学金20万円が免除されます。
医療費補助	申請した者	在学中に病気やケガをした場合、指定病院で受診すると、医療費の3割(窓口支払分)が大学が一額負担します。
研究費の助成	博士後期課程の全専攻1~3年	標準修業年限の3年間に博士学位論文の完成を目指し、年額60万円を研究活動費として助成します。
奨学金		学業成績・人物ともに優秀かつ健康であって、将来、学術研究者または上級技術者となる者の養成のため、学費を貸与あるいは給付します。

奨学金名称	金額	対象・実績
日本大学工学部第1種奨学金	年額60万円給付(予定)	6名
日本大学大学院工学研究科奨学金	年額40万円給付(予定)	6名程度
日本大学古田奨学金	年額20万円給付	1名
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金	年額20万円給付	1名
日本学生支援機構第一種奨学金(無利子) JASSO	博士前期 月額5/8.8万円から選択 貸与 博士後期 月額8/12.2万円から選択 貸与	特に優れた業績による返還免除 大学院での研究業績等による奨学金で、貸与額を免除します(工学研究科では申請者の5割程度が免除!)
日本学生支援機構第二種奨学金(有利子) JASSO	月額5/8/10/13/15万円から選択 貸与	申請者

※奨学金の給付対象は現時点(R4.11)での内容になり、予告なく変更になる場合があります。奨学金のお問い合わせは学生課(TEL.024-956-8633)

■ 令和6年度 大学院入試(予定)

大学院は博士前期課程(2年)、博士後期課程(3年)に分かれており、学部から博士前期課程、前期課程から後期課程に進学できます。

学部内・研究科内選考推薦入試試験	一般選考(第1期)	一般選考(第2期)
令和5年 7月上旬	令和5年 10月上旬	令和6年 2月中旬

(※試験に合格しおらず、出願資格を満たしている場合は、全試験の受験が可能です。)

お問い合わせ 日本大学工学部 教務課 TEL. 024-956-8623 FAX. 024-956-8888 E-mail. ceb.kyomu1@nihon-u.ac.jp

第72回

北桜祭

HOKU
OH

花明かり
あの輝きを
もう一度

工学部恒例秋の祭典、第72回北桜祭が「花明かり あの輝きを もう一度」をテーマに、10月29日(土)・30日(日)に開催されました。台風被害と新型コロナウイルス感染症の影響によって開催を阻まれた北桜祭が4年ぶりに対面での実施が叶い、開催を心待ちにしていた学生たちの気持ちが届いたのか両日ともに天候にも恵まれました。工学部キャンパスはたくさんの来場者で賑わい、活気に満ちた2日間となりました。



開式

北桜祭実行委員長の渡部さんが開祭宣言!



根本修克工学部長がご挨拶

メインステージ企画

とっても盛り上がったよ!



北桜祭マスコットキャラクター
咲良 菜

8+4ジャンルのダンスショーケースを披露



ダンスサークル
FROLIC

激辛王



獄激辛の死闘を制す!

合気道部の華麗な演武



BINGO大会



学園ものコメディで会場を笑いの渦に!



演劇部
劇団NKP

ディアボロ、デビルスティックから手品まで披露



ジャグリング部



男女逆転ミスコン

フォークソング同好会



Champion
歌うまチャンピオン!



のど自慢大会

模擬店

おいしいのしいおみせがいっぱい~

北桜祭マスコットキャラクター
咲にゃん

建築学科の学生による手作りキッチンカー



日本大学最強を決めろ!



日大 e-sports 大会

たこやきつくるひと



最強模擬店 決定戦 優勝

たこやき最高~!

景品付きの的当て!



弓道部

サークルの展示発表

一つのテーマをもとに様々な技法で作品を制作しました!



美術部

一つのテーマをもとに様々な技法で作品を制作しました!



創作活動部



吹奏楽部

楽しい展示が盛りだくさん!



北桜祭マスコットキャラクター
咲良 舞

卒業生も参加しての大演奏会になりました



音響研究会

レーザーカッター体験コーナー!



LohasProLAB

地方創生LDPs



車両展示を行いました



自動車部

トレーディングカードゲーム研究会



Racing Kart研究会



滑空研究会



ひとの集まり方をデザインする「ひとまぐプロジェクト」を実施しました!



鉄道研究会

プラレール運転会や写真展示を開催!

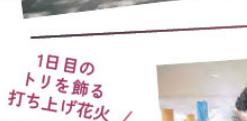


写真部

モダンジャズ研究会



建築研究会&学生団体Chi縁



1日目のトリを飾る打ち上げ花火



日本大学自主創造プロジェクト

北桜祭実行委員会より

4年ぶりの対面形式での北桜祭には2日間でのべ3000人を超える来場者がありました。これまでの北桜祭を継承しつつ、「e-sports大会」といった新たな企画も実施し、学生の皆さんや地域の方々にも大いに楽しんでいただけたと思います。北桜祭の輝きを取り戻すことができ、大変嬉しく思うとともに、来年はもっと輝く北桜祭になることを願っています。
第72回北桜祭実行委員会委員長 渡部 裕太さん

ミニオープンキャンパス



北桜祭イベント

10月29日(土)・30日(日)に北桜祭と同時開催されたイベントをご紹介します。

Event
01

4年ぶりに『日本大学工学部母校を訪ねる会』を開催しました



大野氏(右から2番目)とラグビー部の仲間

学生時代を共に過ごしたキャンパスでの再会を喜ぶ卒業生たち

『母校を訪ねる会』は卒業後50年から10年刻み、5世代に渡る卒業生を対象に、毎年北桜祭と同日に開催しています。本年度は、延期となっていた過去3年の対象者もお招きし、総勢492名の皆様にご参加いただきました。恒例の中庭銅像前での記念撮影の後、学生食堂(ハットNE)を会場に、教職員を交えた懇親会を開催。根本修克工学部長、中野伍朗工学部校友会会長が歓迎と御礼の言葉を述べ、江黒俊弘事務局長の音頭により高々と杯を掲げて宴がスタート。元ラグビー日本代表の大野均氏(機械工学科第49回卒業生)もラグビー部の仲間とともに参加され、学生時代の思い出を語ってくださいました。登壇した応援団長とともに列席者全員心の中で校歌を斉唱。城座隆夫工学部校友会副会長の三本締めで閉会となりましたが、旧友や恩師との再会を懐かしみつつ、歓談は尽きないといった雰囲気でした。



「マグロ解体ショー」も行われました!

Event
02

ワンダーフォーゲル部創部60周年記念式典が行われました



記念碑が物語るワンダーフォーゲル部の60年の歴史

創部以来、節目の年には様々な記念事業を行い結束力の高さを誇るワンダーフォーゲル部。60周年となる今回は、55周年の際に磐梯山への設置を計画していた記念碑を、5年の時を越えて工学部キャンパスの中庭に設置する運びとなりました。除幕式が行われ、日本の銘石、小松石に刻まれた記念碑が姿を現すと、集まった関係者から大きな拍手が沸き起こりました。続いて根本工学部長からの祝辞が披露され、ワンダーフォーゲル部およびワンゲル精神をもって社会で活躍されているOBの方々への敬意を表されました。諸先輩方が築いた歴史の積み重ねであり、活動の証ともいえる記念碑には、ワンゲル魂が宿ったかのようにロゴマークが燦然と輝いていました。今後のワンダーフォーゲル部の更なる発展を心より祈念いたします。

Event
03

第72回北桜祭「特別講演会」が開催されました

「テレビからの脱却! イノベティブな未来の作り方」

土屋敏男氏(Gontents代表 みんなのテレビの記憶代表)、西田二郎氏(未来のテレビを考える会代表理事)のお二人をお迎えした特別講演会。イノベティブであるためのヒント、未来を切り拓くための心意気を軽快なトークで伝えていただきました。挑戦と失敗が生み出す力をチップとしてため込み、ここだというタイミングで「全Bet!しよう!ハイリスク・ハイリターンを目指すこそがイノベティブな未来への手がかりだということ、対人コミュニケーションで伝わる「本気」こそがモノづくりの重要なキーワードであることなど、4年ぶりの対面開催となる北桜祭にふさわしい熱いメッセージをありがとうございました。一人ひとりはもちろん、日本大学工学部全体としても、ここ郡山からイノベーションを起こしていきましょう。



令和4年度父母面談会を開催しました



学生・父母・教職員が三位一体となり、学修・学生生活・就職等の相談に応える

工学部では、ご子女に関する学修・学生生活・就職等の各種のご相談および工学部に対するご意見、ご要望をお伺いし、ご子女が満足いく学生生活を送れるように学生支援・サポート体制の充実を図ることを目的とした父母面談会を毎年開催しております。本年度は、初の試みとなるオンラインでの相談会を6月23日(木)・24日(金)・25日(土)に実施。また対面形式の面談会を9月10日(土)・11日(日)に各地方都市16会場で、17日(土)に工学部キャンパスにて新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら実施いたしました。希望者を対象とした個人面談のみでしたが、全会場で767組の参加がありました。単位の取得状況や普段の生活の様子、今後の進路状況に関する説明や相談に教員が直接応えることで、教育効果の向上につながるものと考えています。ご参加いただいた皆様には、大変有意義な面談になったようでした。



一人ひとりの相談に教員が親身に対応



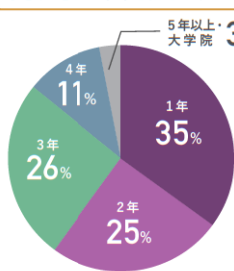
パーティーションなどで飛沫防止対策も万全



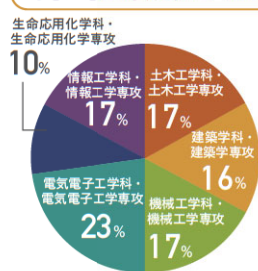
ご子息と共に参加されたご家族

アンケート結果

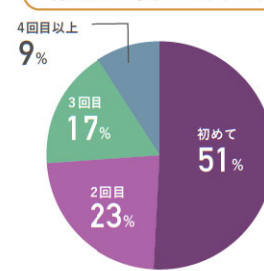
ご子息、ご息女の学年を教えてください



ご子息、ご息女の学科を教えてください



何回目のご参加でしょうか?



ご父母の声

- 親身に話を聞いてくれたので、不安もなくなった。
- 丁寧にきちんと面倒を見てもらって保護者としては安心できる。就職のアドバイスももらえた。
- 企業出身の先生もいるので視野が広く企業とのつながりもあるのは就職の強みになる。

アンケート結果・ご父母の声の続きはこちらから



これからも学生一人ひとりと向き合いながら、ご子女がより有意義な大学生活を送れるようサポートしてまいります。この場をお借りしまして、ご参加いただいた皆様へ厚く御礼申し上げます。

学生・卒業生の活躍

01 令和4年度土木学会全国大会 第77回年次学術講演会優秀講演者

9月15日(木)・16日(金)に行われた令和4年度土木学会全国大会第77回年次学術講演会において、土木工学専攻博士前期課程2年 相内豪太さん(構造・道路工学研究室/岩城一郎教授・前島拓専任講師)が「石炭ガス化スラグ微粉末を混和材として用いたコンクリートの諸物性に関する検討」で、また2021年度土木工学専攻博士前期課程修了 神戸智志さん(水文・河川工学研究室/朝岡良准教授)が「SSPシナリオを用いた豪雪地帯のダム流入量の推定と利水運用に及ぼす影響」で、優秀講演者として表彰されました。



神戸智志さん 相内豪太さん

02 第57回地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞

7月20日(水)から22日(金)に公益社団法人地盤工学学会第57回地盤工学研究発表会が行われ、土木工学専攻博士前期課程1年 土屋貴一さん(地盤工学研究室/仙頭紀明教授)が発表した「液化後に発生する時間遅れを伴った流動変形の再現実験」が優秀論文発表者賞を受賞しました。本研究は地盤防災を目的に液化現象を明らかにするために行った卒業研究の成果をまとめたもので、流動変形を再現するという難しい実験に独自の手法で挑戦していることが高く評価されました。



03 令和4年度水文・水資源学会 論文奨励賞

2019年度土木工学専攻博士前期課程修了 竹田稔真さん(水文・河川工学研究室/朝岡良准教授)が、水文・水資源学会2022年度総会において令和4年度水文・水資源学会論文奨励賞を受賞しました。竹田さんが発表した「田んぼガムの洪水緩和効果による将来的な水害リスク上昇抑制効果」は、大学院での研究成果をまとめた論文で、水文・水資源学の発展に独自性および将来性をもって寄与するものとして高く評価されました。



04 令和3年度海外インフラプロジェクト 優秀技術者表彰 国土交通大臣奨励賞

2010年度土木工学科卒業 服部裕史さん(当時:コンクリート工学研究室/岩城一郎教授・子田康弘准教授)が、令和3年度海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰 国土交通大臣奨励賞を受賞しました。服部さんは、タジキスタン共和国ハトロン州ピアンジ果給水改善計画の海外プロジェクトに従事し、卓越した技術と旺盛な責任感をもってプロジェクトを見事に完遂。相手国の社会経済の発展に大きく寄与した技術力とマネジメント力が高く評価されました。



05 日本建築学会 優秀卒業論文賞

一般社団法人日本建築学会「2022年(第33回)日本建築学会 優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞受賞者」が発表され、2021年度建築学科卒業 関日奈乃さん(建築歴史意匠研究室/速水清孝教授)の卒業論文「雑居地・新潟島の明治期の都市形成に関する研究 -外国人の住まいに注目して-」が優秀卒業論文賞に輝きました。これまでに、優秀修士論文賞の受賞は2回ありましたが、優秀卒業論文賞は初めてのことで、本学部にとっても大変名誉なことです。

06 第2回フェーズフリーアワード2022入選

建築学専攻博士前期課程1年 結城諒真さん(建築計画研究室/浦部智義教授)が令和3年度卒業設計で取り組んだ作品『今、集落の暮らしの結節点』が、第2回フェーズフリーアワード2022(一般社団法人フェーズフリー協会主催)で入選しました。「フェーズフリーアワード」は防災に関わる新しい考え方に基づくさまざまな事業やアイデアを広く社会から募り、優れた事業やアイデアを顕彰しています。結城さんの作品は、防災と集落の「ゴミ集積場」を結び付けた視点が高く評価され、「アイデア部門」での受賞となりました。



07 第26回JIA東北建築学生賞 優秀賞および奨励賞

10月27日(木)に行われた第26回JIA東北建築学生賞において、福島県双葉町に震災の記憶や思いを汲み取る新たな人々の住処となる集合住宅を提案した建築学科4年 糠谷勇輔さん(建築・地域計画研究室/宮崎渉専任講師)の作品「心の器」が優秀賞、宮城県南三陸町を舞台に東日本大震災の復興事業により衰退した漁業に着目した同学科4年 阿部佳穂さん(建築計画研究室/浦部智義教授)の作品「記憶の方舟〜6次産業による地域の活性化〜」がみやぎ建設総合センター賞(奨励賞)を受賞しました。



糠谷勇輔さん 阿部佳穂さん

08 日本インテリア学会 第34回大会学生発表奨励賞

10月22日(土)・23日(日)に行われた日本インテリア学会第34回大会(福島)において、建築学専攻博士前期課程1年 吉澤伊代さん(住環境計画研究室/市岡綾子専任講師)が学生発表奨励賞を受賞しました。吉澤さんが発表した「市民に開かれたスペースの設えに関する研究 - 福島県内の庁舎におけるケーススタディ -」は東日本大震災以降に新築された福島県内の庁舎を対象に調査・分析を行ったもので、視線・動線の緩和につながる設えの重要性に着目した点が高く評価されました。



09 日本インテリア学会 第29回卒業作品展 優秀作品賞

日本インテリア学会第29回卒業作品展表彰において、2021年度建築学科卒業 吉田奈未さん(建築計画研究室/浦部智義教授)が卒業設計で取り組んだ作品「布降る街、商いを導く知との邂逅 - ファッション的な空間構成 -」が優秀作品賞を受賞しました。街の特性を建築化するような手法で、インテリアと一体となった新しい街の衣替えを意識した作品で、織維間屋敷、街なかの卸売団地の更新を、建築のファッション性の可能性に絡めて表現した点が高く評価されました。



(左から) 濱尾博文非常勤講師、稲葉さん、三沢さん、長島さん、園田さん、浅里教授

10 『第8回JSCA東北支部 構造デザインコンテスト』 最多得票賞

7月9日(土)に「JSCA東北支部第8回構造デザイン交流会」(一般社団法人日本建築構造技術者協会東北支部主催)が開催され、第1部で行われた構造デザインコンテストにおいて建築学専攻の大学院生チーム[建築学専攻博士前期課程1年 稲葉雄大さん、長島周さん(空間構造システム研究室/野内英治准教授)、同2年 園田駿希さん(建築・地域計画研究室/宮崎渉専任講師)、同2年 三沢健介さん(鋼構造デザイン研究室/浅里和茂教授)]が発表した作品「築輪(ちくりん)」が、見事「最多得票賞」を受賞しました。

11 白河市長に『まちなかの 暮らし体験住宅計画案』を プレゼンテーション

白河市は、これまで田園地域に設置していた移住者や二地域居住者を対象とした暮らし体験住宅を、今年度はまちなかで計画することになり、建築学科の住環境計画研究室(市岡綾子専任講師)が産学官協働により、この暮らし体験住宅をまちなかベースとして整備する学生目線でのアイデアを提案し、リノベーションすることとなりました。7月25日(月)には、鈴木和夫白河市長に各々の計画案をプレゼンテーションしました。今年度中の完成を目指し、設計を進めています。



12 令和4年度化学系学協会東北大会 優秀ポスター賞

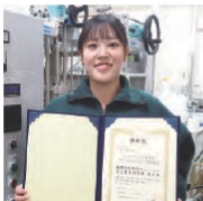
9月17日(土)・18日(日)に公益社団法人日本化学会東北支部令和4年度化学系学協会東北大会(盛岡大会)が開催され、生命応用化学専攻博士前期課程1年 佐藤さつきさん(環境放射化学研究室/沼田靖教授)が「Quantitative analysis of Quercetin in food waste with Raman Spectroscopy: ラマン分光法による食品廃棄物中のケルセチン(および配糖体ルチン)の定量分析」(無機/分析/環境化学分野)で、同1年 山本真大さん(生体材料工学研究室/石原務教授)が「骨ターゲティングを目指したペプチド修飾ポリ乳酸ナノ粒子の開発(高分子化学/繊維化学分野)で優秀ポスター賞を受賞しました。



佐藤さつきさん 山本真大さん

学生・卒業生の活躍

活躍 13 化学工学会第53回秋季大会 学生講演優秀賞



9月14日から16日に信州大学長野(工学)キャンパスで行われた化学工学会第53回秋季大会において、生命応用化学専攻博士前期課程1年 豊川茉莉さん(環境化学工学研究室/児玉大輔准教授)が学生講演優秀賞を受賞しました。講演した「イミダゾリウム系混合イオン液体のガラス転移温度」では、CO₂吸収溶媒として注目されているイオン液体について、分子運動が凍結するガラス転移温度と粘性との関係を明らかにし、新たな相関式を開発することを目的としています。今回、報告例の少ない高粘度イオン液体のガラス転移温度を精密に測定した点が高く評価されました。

活躍 14 技育展2022ゲーム部門優秀賞

「もの創り」を展示するピッチコンテスト「技育展2022」(株式会社サポーターズ主催)が開催され、「ゲーム部門」において、情報工学科4年 卯木優大さん(情報ネットワーク研究室/見越大樹准教授)の作品「IoTサバゲーシステム」が優秀賞を受賞しました。このゲームは、BB弾の代わりに光を使って撃ち合う新しい感覚のサバイバルゲームで、スマホと連携させることでデジタルゲームと体を動かすサバイバルゲームを融合させたシステムになっています。卯木さんは昨年も出場し、「世の中を便利にする部門」で最優秀賞を受賞しています。



活躍 15 電子情報通信学会の『ComEX Top Downloaded Letter Award』受賞



情報工学専攻博士前期課程2年 國分悠斗さん(制御ソフトウェア研究室/上田清志教授)が電子情報通信学会(IEICE)の英文論文誌「Communication Express(ComEX)」に筆頭著者として投稿した「Reactive route construction for UAV delivery considering travel time and safety using wireless multi-hop network」が、全論文の中で7月に最も多くダウンロードされた論文だったことから、IEICE Communications Expressより『ComEX Top Downloaded Letter Award』が贈呈されました。

活躍 16 第3回創生アイデアコンテスト特別賞

Lohas ProLAB

10月27日(木)、ビッグバレットふくしまで開催された「メディカルクリエイションふくしま2022」において、「第3回創生アイデアコンテスト」(ふくしま医療機器開発支援センター主催)が行われ、「日本東北高校×日本大学工学部 LohasProLABコラボチーム」が特別賞を受賞しました。日本大学東北高等学校の生徒の相撲の試合での実体験をもとに、大学生と高校生が一緒にアイデアを考えて、怪我の状態を診断する「アスリートのための応急処置ガイドアプリ」を提案しました。



活躍 17 郡山の魅力を発信するイベントで地域に貢献

学生団体 Chi緑

建築学科の学生を主体に、地域の人々との交流の中でまちの魅力や課題を発見し、街をより良くするためのデザインをすること、そして、参加する人とともに楽しい活動を作り、まちとともに歩むことを目標に活動する「Chi緑」(代表:建築学科3年 永見政悟さん)。産学官民連携で郡山の魅力を考える事業「郡山魅力サミット」にも参加し、10月16日(日)に行われた「魅力発見!こおりやま」のイベントでは、「廃材で作る一輪押し作り体験」を企業と一緒に催し、多くの方を楽しませました。

令和4年度 科学研究費助成事業交付者

令和3年度の科学研究費助成金及び委託研究費、研究奨励寄付金の総額は317,680,928円でした。今年度、工学部では以下の研究が科学研究費助成事業に採択されました。

研究種目	学科	資格	代表者氏名	研究課題名	今年度交付額(円)		研究期間(年度)	
					直接経費	間接経費		
基礎研究(B)	土木	教授	中野 和典	下水処理の脱炭素化と高度化に資する人工湿地技術の開発とパイロットスケールでの検証	5,700,000	1,710,000	R4-R6	
	土木	教授	岩城 一郎	学術的検証に裏打ちされた市民参加型機軸メンテナンスシステムの構築	3,000,000	900,000	R3-R5	
	機械	教授	西本 哲也	世界の自動車事故の早期救命を目指した傷害予測アルゴリズムの素早いパイロットステディ	4,300,000	1,290,000	R3-R5	
	機械	准教授	井口 史匡	固体イオン導電体における結晶学的力学因子の解明	4,100,000	1,230,000	R3-R5	
	電気電子	教授	依 敏彦	磁気的純化固体原子系の創成と量子メモリ応用に関する研究	6,800,000	2,040,000	R4-R6	
	電気電子	准教授	高橋 竜太	ハイブリッドヘテロ界面を用いた圧電薄膜の高機能化	3,100,000	930,000	R2-R4	
	生命応用	教授	加藤 隆二	マルチ過渡吸収分光法を用いた酸化チタンにおける電荷再結合の機構解明	2,300,000	690,000	R2-R5	
	生命応用	教授	平野 展孝	植物バイオマス分解酵素複合体(セルロソーム)の体系的な相乗効果ネットワーク解析	3,900,000	1,170,000	R3-R6	
	情報	教授	松村 哲哉	8K高精細画像センシング向け超低速動画画像符号化方式に関する研究	3,900,000	1,170,000	R2-R5	
	情報	准教授	瀧井 元気	大学横断型統一実験プロトコルに基づくセンサ利活用の教育ビッグデータ収集	1,800,000	540,000	R1-R4	
情報	准教授	大山 勝彦	時間分解分光法で推定した脳深部を用いる認知症知症の新スクリーニング検査法の確立	5,200,000	1,560,000	R4-R6		
基礎研究(C)	土木	准教授	朝岡 良浩	熱帯水河の下流に形成される湿地・水河湖の水文学的機能の解明と水資源への影響評価	800,000	240,000	R2-R4	
	土木	准教授	川崎 洋輔	センシングデータを用いた災害時のロバストな交通異常検知手法の開発	1,100,000	330,000	R4-R6	
	建築	教授	浦部 智義	東日本大震災後に福島県内に建設された復興交流施設の評価に関する研究	700,000	210,000	R3-R5	
	建築	准教授	山田 義文	特別養護老人ホームにおける建築環境特性別の重症化対応及び災害時対策に関する研究	900,000	270,000	R4-R6	
	建築	専任講師	山岸 吉弘	「大工棟梁」を中核とした近世建築生産史の再構築	300,000	90,000	R2-R5	
	機械	教授	長尾 光雄	膝関節音・バランス能力から運動器症候群を予測/予防するAI診療システムの開発	700,000	210,000	R3-R5	
	機械	教授	片岡 剛之	脱分化脂肪(DFAT)細胞に対する力学刺激負荷による分化・増殖に及ぼす影響	800,000	240,000	R3-R5	
	機械	准教授	田中 三郎	エネルギーハーベスティング型熱電デバイスの界面熱抵抗メカニズムの解明	900,000	270,000	R3-R5	
	電気電子	教授	高田 聡	登山ヒヤリハット体験の画像化とリスク回避のセルフトレーニングによる実践的伝承	700,000	210,000	R2-R4	
	電気電子	教授	四方 潤一	負誘電率周波数帯の表面電磁波共鳴を用いたテラヘルツイメージングの研究	1,300,000	390,000	R4-R6	
	電気電子	教授	遠藤 拓	学生実験の遠隔化を目指した新しい教授法の提案	600,000	180,000	R4-R6	
	電気電子	上席研究員	渡邊 博之	記述式コードウェアの学習データ分析に基づいたSCORM対応LMSの開発	600,000	180,000	R3-R5	
	電気電子	准教授	村山 嘉延	妊娠マウスの深部体温変動を再現して体外受精の発育促進を目指す	900,000	270,000	R3-R5	
	生命応用	教授	石原 恭	アンチmRNAオリゴ核酸を包埋した生分解性ナノ粒子による下顎性動脈閉塞症治療	1,100,000	330,000	R2-R4	
	生命応用	准教授	山岸 賢司	分子シミュレーションによる新規RNAアプタマー設計の基礎技術の構築	900,000	270,000	R3-R5	
	生命応用	准教授	内野 智裕	人工材料による生体硬組織修復メカニズムの解明	700,000	210,000	R2-R4	
	生命応用	准教授	庄子 卓	特異な光学特性を示すアズレン縮環型多環式芳香族化合物の創製と応用展開	1,000,000	300,000	R3-R5	
	情報	教授	上田 清志	スマートメーター無線デバイスを用いた小型無人移動の最適経路制御方式の確立	1,100,000	330,000	R3-R5	
	情報	教授	源田 浩一	機械学習を活用したネットワーク帯域予約サービスの受付判定方法	600,000	180,000	R2-R4	
情報	准教授	中村 和樹	東南極における氷河流動と氷面融解の相互作用に伴う消耗量変動の解明	400,000	120,000	R3-R5		
総合教育	教授	川崎 正士	「第2回改訂中学校学習指導要領」までの「5文型」の普及に関する史的探究	900,000	270,000	R3-R5		
総合教育	教授	中野 浩一	歌米での身体教育の概念の起源とその変遷:二つの身体(生体・媒体)に基づく検討	600,000	180,000	R2-R6		
総合教育	教授	野田 工	ゼータ母関数族と多重型形式の相互構築	900,000	270,000	R4-R6		
総合教育	准教授	赤石 恵一	札幌農学校1~5期生の漢文学習の実態とそれが英語熟達度と与えた影響と要因の解明	600,000	180,000	R1-R5		
総合教育	准教授	川崎 和基	17世紀イングランド内乱期宗教的寛容の異質性	300,000	90,000	R3-R7		
総合教育	准教授	高木 秀有	低圧二相合金におけるクリーブ特性の重要とその組織因子による影響	400,000	120,000	R2-R4		
総合教育	専任講師	古河 美恵子	アクトの二重性—ロバート・ヘリックの詩における芸術的価値と政治的価値—	400,000	120,000	R4-R6		
総合教育	助教	増田 圭祐	20世紀転換期ロンドンにおける学校児童に対する医療・衛生の規範化の歴史的研究	500,000	150,000	R4-R6		
挑戦的研究(開拓)	建築	教授	サンジェイ・バリーク	安全・低環境負荷・低コストを特徴とするコンクリート-全面体蓄電池の開拓	6,000,000	1,800,000	R4-R8	
挑戦的研究(開拓)	生命応用	教授	平野 展孝	原核細胞内における人工的な代謝反応区画(メタポソーム)の創出	1,000,000	300,000	R4-R8	
若手研究	土木	専任講師	前島 拓	床版の劣化を考慮した橋面アスファルト舗装の疲労損傷機構に関する研究	700,000	210,000	R2-R4	
	土木	助教	石橋 寛樹	地域の防災力向上を目指したレジリエンスに基づく構築の補強優先度判定	400,000	120,000	R3-R7	
	機械	助教	今林 亘	データ駆動型制御器を利用したオンライン調整型2自由度制御系の開発	800,000	240,000	R4-R6	
	電気電子	専任講師	石川 瑞憲	SiスピノモSEFの実現を可能とする低界面抵抗誘電体の創製	1,300,000	390,000	R3-R5	
新学術領域研究(研究奨励装置)	総合教育	助教	菊地 真史子	振動ユビクティ制御の精密評価を用いたボトムアップのヒッグスセクター構造決定	700,000	210,000	R2-R5	
	総合教育	准教授	高木 秀有	高温強度におけるキンク変形帯の役割とその強化メカニズムの解明	2,100,000	630,000	R3-R4	
合計	採択件数合計47件				新規小計 31,200,000		9,360,000	
	内訳 新規代表13件 継続代表34件				継続小計 46,600,000			13,980,000
					合計		77,800,000	23,340,000